

大遠忌

令和2年
4月18日～25日



元祖法然上人800年大遠忌記念事業

平成大修理

国宝御影堂落慶法要

4月13日、14日、15日

御忌大会

令和2年4月18日～25日



【目次】

法然上人のご生涯……………	4
法然上人の御忌……………	6
日中法要と逮夜法要……………	8
御忌大会御導師……………	10
元祖法然上人800年大遠忌記念事業 平成大修理	
国宝御影堂落慶法要……………	12
御忌大会日程……………	16
泰平亭売店	
知恩院オリジナル	
人気商品のご紹介……………	28
境内図……………	34

法然上人のご生涯

法然上人は平安の末、長承2年（1133）4月7日、美作国（現在の岡山県）久米南条稻岡庄に、押領使・漆間時国公の長子として誕生され、幼名を勢至丸（せいしまる）としました。勢至丸さまが9歳のとき、父・時国公の館が夜襲され、不意討ちに倒れた時国公は、枕辺で勢至丸さまに遺言を残されます。「恨みをはらすのに恨みをもつてするならば、人の世に恨みのなくなることはない。恨みを超えた広い心を持って、すべての人が救われる仏の道を求めよ」

この言葉に従い勢至丸さまは菩提寺で修学し、その後15歳（二説に13歳）で比叡山に登つて剃髪受戒、天台の学問を修めます。久安6年（1150）18歳の秋、黒谷の慈眼房叡空上人のもとで勉強に励み、法然房源空の名を授かり、「智恵第一の法然房」と評されるほどになりました。以後、法然上人は遁世の求道生活に入ります。

この時代は政権を争う内乱が相次ぎ、飢餓や疫病がはびこるとともに地震など天災にも見舞われ、人々は不安と混乱の中にいました。万民平等救済を一途に求め続けられた法然上人は、黒谷報恩蔵の一切経を読破されること五度に及び、ついに唐の善導大師の「観経疏」の中にある「一心に専ら弥陀の名号を念じ、行住坐臥に時節の久近を問わず、念々

に捨てざるもの、これを正定の業と名づく。彼の仏の願に順ずるが故に」の一文により、阿弥陀仏のご本願を見いだします。それは「南無阿弥陀仏」とただ一心に称えることにより、すべての人々が救われるという専修念仏の道でした。承安5年（1175）、上人43歳の春のこと、ここに浄土宗が開宗されたのです。

法然上人はこの専修念仏に確信をいだいて比叡山を下り、やがて吉水の草庵、現在の知恩院御影堂の近くに移り住みました。そして、訪れる人を誰でも迎え、念仏の教えを説かれました。法然上人の教えは、多くの人々の心をとらえ、時の閑白である九条兼実公などの貴族にも教えは広まっていきました。しかし、教えが世に広まるにつれ、南都北嶺からの弾圧も大きくなりました。加えて、上人の弟子である住蓮、安樂が後鳥羽上皇の怒りをかうという事件が起き、建永2年（1207）、上人はその責任を負い四国へ流罪となりました（建永の法難）。5年後の建暦元年（1211）11月20日に帰京されましたが、吉水の

旧房は荒れ果てており、青蓮院慈鎮（慈円）和尚の配慮により今の知恩院勢至堂のある場所、大谷の禪房にお住まいになりました。年明け早々、病床につかれた法然上人は、弟子の勢観房源智上人の願いを受け、念仏の肝要をしたためます。それが「智者のふるまいをせずして、ただ一向に念仏すべし」と述べた『一枚起請文』です。そして建暦2年（1212）正月25日、80歳で法然上人はご往生されました。



法然上人の御忌

御忌の由来

法然上人の忌日法要を「御忌」と呼ぶようになったのは、大永4年（1524）に、後柏原天皇が、「大永の御忌鳳詔」という詔勅を下されたことによります。その勅旨には、「毎年正月、京畿の門葉を集め、一七昼夜にわたって法然上人御忌をつとめ、はるかに教えの源をたずねよ」とあります。ここに、御忌は勅会として定められ、1月18日よりご命日の25日まで、法要が営まれることになりました。以来、天皇の忌日法要を指す「御忌」が、法然上人に対しても用いられることになったのです。

御忌詣で

江戸時代になると、徳川家の外護を受けて慶長年間にほぼ現在の知恩院の寺域が整います。それとともに、御忌の法要もまた、法然上人の教えを慕う全国の人々が集い、ますます盛大に勤められるようになりました。

当時の人々が、一年の寺参りの始めとして華やかに着飾って参拝に出かけたこともあって、御忌は「衣装競べ」とも呼ばれました。「着だをれの京を見に出よ御忌まふで」（凡菫）という句も残されています。また「なには女や京を寒がる御忌詣」「御忌の鐘ひびくや谷の氷まで」（蕪村）とも詠まれていますから、冬の寒さの残る中での京都詣でだったようです。明治10年（1877）より、多くの人々に参詣いただけるよう、旧暦の1月から、時候の良い新暦の4月に御忌が勤められるようになりました。



日中法要と逮夜法要

法要では、しょうみょう 声明やじゆきやう 誦経、さんか 散華によつて法然上人を讃えるほか、法然上人の御法語（一枚起請文と一紙小消息）をごさんれい ご参列の檀信徒と共に唱和します。

日中法要

【時間】 午前10時30分（25日は午前11時）

【場所】 御影堂

日中法要では、法然上人を讃える節付きの諷誦文（祖師報恩の志を述べる文）の唱導が行われます。この諷誦文を唱える役が、「唱導師」です。唱導師をされる方は、諷誦文の唱え方や作法を指南に

より半年にわたつて教授されます。唱導師は、内陣中央の高座へ、御門跡親下は、外陣寄りに設えられた高座に着かれます。当日は紫色の衣に、浄土宗独特の七九条袈裟を被着し唱導師を勤められます。



逮夜法要

【時間】 午後2時

【場所】 御影堂

後柏原天皇から詔勅を賜ったとき、しやく 笏も共に下賜されました。これにちなんで、逮夜法要では、笏を打ち拍子をとって、念仏を称えながら堂内を練り歩く「ねんぶつ 念仏」行道が行われます。

逮夜法要は本来、御門跡親下が導師を勤められますが、明治12年（1879）より宗門興隆のため、特に貢献された諸上人に御門跡親下の御名代として御奉仕いただいております。



令和2年度 御忌大会 御導師

御當日 25日 土	24日 金	23日 木	22日 水		21日 火	20日 月	19日 日	18日 土	逮夜導師
放生会	御門跡猊下 御親修	 奈良教区第十組 大和之國満願寺 鷺尾至導 上人	浄土宗 宗務総長		知恩院 執事長	御門跡猊下 御親修	 大阪教区北摂組 摂津之國安楽寺 秦 博文 上人	御門跡猊下 御親修	
 京都教区一条組 山城之國淨福寺 菅原好規 上人	 奈良教区第一組 大和之國興善寺 森田康友 上人	 滋賀教区甲賀組 近江之國浄土寺 中川法隆 上人	 大阪教区堺組 和泉之國福成寺 松壽春道 上人		 兵庫教区武崎組 摂津之國西安寺 佐藤彰宏 上人	 京都教区鴨川組 山城之國高樹院 大津隆範 上人	 京都教区宇治組 山城之國西方寺 佐藤龍親 上人		日中唱導師

元祖法然上人800年大遠忌記念事業 平成大修理

国宝 御影堂 落慶法要



令和2年 4月13日～15日

4月15日

国宝 御影堂落慶御遷座宗門慶祝法要

浄土宗大本山をはじめ、浄土宗内及び知恩院関係役職者をご招待し、お念仏と御詠歌を中心とした僧俗一体の法要を執り行い、3日間の遷座法要を締めくくります。



4月13日

国宝 御影堂落慶御遷座法要

平成23年12月25日から約8年間、御影堂平成大修理のため、法然上人御堂にご安置しておりました元祖法然上人御影を、全国門葉のお力添えによって約380年ぶりに創建当初の姿に甦った御影堂に御遷座いただく法要です。庭儀式によって執り行われ、雅楽による荘厳の中御遷座されます。



10月25日

国宝 御影堂落慶御満座法要



5月1日～10月15日

国宝 御影堂記念団体参拝期間

※月のうち1日～15日（8月は除外月）



【団参等のお問い合わせ】

浄土宗総本山知恩院 御影堂修理事務局 075-531-2241

4月14日

国宝 御影堂落慶御遷座披露法要

国宝 御影堂平成大修理は国庫補助事業として行われ、国のご支援をはじめ、京都府文化財保護課技師や各分野の工匠方のご尽力による大事業になりました。各宗本山、官公庁、工事関係者をご招待し、舞楽を交えた古式による落慶慶祝の法要を厳粛に執り行います。



18日^土

献華式(華頂流)

開白速夜法要中

〔場所〕御影堂



〔導師〕
御門跡 猊下御親修
御開扉

開白速夜法要

午後2時

〔場所〕御影堂

鳳詔頂戴式

午後1時

〔場所〕小方丈

後柏原天皇より賜った「大永の御忌鳳詔」を頂戴する儀式です。

御忌大会日程

※都合により、予告なく日程が変更になる場合があります。



開白速夜法要後

〔場所〕御影堂

高齡者招待祝賀会

午前11時30分より受付

午後5時30分

〔場所〕和順会館

宿舎伝道

◆京都教区 羽田 龍也 上人

午後8時より翌午前7時

〔場所〕三門楼上

総本山式衆会による釈迦讃歎供養法要終了後

ミッドナイト念仏
in 御忌

三門楼上にて、夜を徹してお念仏をお称えします。どなたでも自由に、好きな時間帯に参加できます。



19日

午前5時30分
〔場所〕御影堂

晨朝法要

晨朝法要後
〔場所〕御影堂

法 話 ◆滋賀教区 稲岡純史上人

日中法要前
〔場所〕御影堂

楷定念仏奉納

各地に伝わる、伝承念仏の一つです。双盤を打ち鳴らし、節をつけたお念仏を奉納していただきます。



奉納 滋賀教区 野洲組 正福寺
鳥取教区 因幡組 栖岸寺

午前10時30分
〔場所〕御影堂

日中法要

〈唱導師〉◆京都教区西方寺 佐藤龍親上人



午後1時
〔場所〕御影堂

法 話 ◆岐阜教区 澤玄浄上人

午後2時
〔場所〕御影堂

逮夜法要

〈導師〉◆大阪教区安楽寺 秦博文上人



午後5時30分
〔場所〕和順会館

宿舍伝道 ◆奈良教区 野島学道上人

20日

午前5時30分
〔場所〕御影堂

晨朝法要

晨朝法要後
〔場所〕御影堂

法 話 ◆富山教区 關野弘賢上人

午前9時
〔場所〕御影堂

法 話 ◆奈良教区 勝部正雄上人

午前9時40分
〔場所〕御影堂

法 話 ◆三河教区 鈴木超淳上人

日中法要中
〔場所〕御影堂

各宗本山・官公庁・総代招待

各宗本山・官公庁・総代を招待し、共に法然上人の遺徳を讃えます。



午前10時30分
〔場所〕御影堂

日中法要

〈唱導師〉◆京都教区高樹院 大津隆範上人



午後1時
〔場所〕御影堂

法 話 ◆大分教区 阿部信之上人

午後2時
〔場所〕御影堂

逮夜法要 〈導師〉御門跡猊下御親修

午後5時30分
〔場所〕和順会館

宿舍伝道 ◆北海道第二教区 梅庭英良上人

22日水

午前5時30分
晨朝法要

〔場所〕御影堂

午前9時
法話

〔場所〕御影堂

午前9時40分
法話

◆滋賀教区 吉水 玖磨 上人

午前9時
法話

〔場所〕御影堂

午前9時40分
法話

◆長野教区 村上 和彦 上人

午前10時
法話

〔場所〕御影堂

午前10時
法話

◆奈良教区 中村 晃和 上人

午前10時30分
写経会

〔場所〕和順会館

午前10時30分
日中法要

〔場所〕御影堂

〔唱導師〕◆大阪教区 福成寺

松壽 春道 上人



午前5時30分
晨朝法要

〔場所〕御影堂

午前9時
法話

〔場所〕御影堂

午前9時40分
法話

◆静岡教区 戸崎 博隆 上人

午前9時
法話

〔場所〕御影堂

午前9時40分
法話

◆京都教区 城平 賢宏 上人

午前9時40分
法話

〔場所〕御影堂

午前9時40分
法話

◆大阪教区 有本 亮啓 上人

午前10時30分
日中法要

〔場所〕御影堂

〔唱導師〕◆兵庫教区 西安寺

佐藤 彰宏 上人



午後1時
法話

〔場所〕御影堂

午後2時
速夜法要後

〔場所〕御影堂

速夜法要

〔導師〕知恩院執事長

総本山待遇者叙任式

総本山知恩院に対する功
勞が顕著である諸上人に、
耆宿・宿老・長老の待遇
を叙する儀式です。



午後5時30分
宿舎伝道

〔場所〕和順会館

宿舎伝道

◆福岡教区 能登原 靖史 上人

午後1時
法話

〔場所〕御影堂

法話

◆佐賀教区 藤野 良海 上人

午後2時
速夜法要

〔場所〕御影堂

速夜法要

〔導師〕浄土宗 宗務総長

速夜法要後

〔場所〕御影堂

宗門功勞者表彰式・高齢者壽賀式

宗門の発展に特に寄与さ
れた上人の功績を称え、そ
の高徳を表彰いたします。
併せて、本年米寿を迎え
られた上人を招待しお祝
いたします。



午後5時30分
宿舎伝道

〔場所〕和順会館

宿舎伝道

◆新潟教区 長谷川 三靖 上人

21日火

23日 木

午前5時30分
〔場所〕御影堂

晨朝法要

晨朝法要後
〔場所〕御影堂

法 話 ◆奈良教区 西孝温 上人

午前9時
〔場所〕御影堂

宗門学校音楽法要



午前9時40分
〔場所〕御影堂

法 話 ◆山口教区 加藤善雄 上人

午前10時30分
〔場所〕御影堂

日中法要

〔唱導師〕◆滋賀教区 浄土寺
中川 法隆 上人



日中法要後
〔場所〕納骨堂・宝佛殿・
七百五十萬霊塔

納骨堂参拝

午後1時
〔場所〕御影堂

法 話 ◆三河教区 神谷真章 上人

午後2時
〔場所〕御影堂

逮夜法要

〔導師〕◆奈良教区 満願寺
鷲尾 至導 上人



午後5時30分
〔場所〕和順会館

宿舎伝道 ◆山口教区 沖村宏明 上人

24日 金

午前5時30分
〔場所〕御影堂

晨朝法要

晨朝法要後
〔場所〕御影堂

法 話 ◆大阪教区 神田眞晃 上人

午前9時
〔場所〕御影堂

法 話 ◆滋賀教区 安部隆瑞 上人

午前9時40分
〔場所〕御影堂

法 話 ◆滋賀教区 二橋信玄 上人

午前10時30分
〔場所〕御影堂

日中法要

〔唱導師〕◆奈良教区 興善寺
森田 康友 上人



午後1時
〔場所〕御影堂

法 話 ◆熊本教区 山崎龍道 上人

午後2時
〔場所〕御影堂

逮夜法要 〔導師〕御門跡猊下御親修

逮夜法要後
〔場所〕御影堂

叙任式

本年度、新たに正僧正・僧
正の位に就かれる諸上人を
御門跡猊下が叙任します。



午後5時30分
〔場所〕和順会館

宿舎伝道 ◆滋賀教区 奥村照真 上人

26日 日～27日 月



吉水講詠唱奉納大会

全国の吉水講講師が御影堂に集い、詠唱の奉納を行います。詠唱を通して祖師報恩の誠を捧げます。

午後1時

〔場所〕御影堂

天幕伝道

三門付近では大正大学・佛教大学の学生による天幕伝道が行われます。



御忌布教

毎日各法要の前後に知恩院布教師による法話が行われます。また24日までは17時30分より和順会館において宿舎伝道も行われます。



25日 土

晨朝法要

午前5時30分

〔場所〕御影堂

法話

晨朝法要後

〔場所〕御影堂

◆福岡教区 松尾善樹上人

献茶式(表千家)

午前10時

〔場所〕御影堂

おもてせんけ 表千家、裏千家、武者小路千家の三千家が交替で献茶されます。



日中法要

午前11時

〔場所〕御影堂

〔御當日唱導師〕

◆京都教区浄福寺 菅原好規上人



御廟参拝

日中法要後

〔場所〕御廟

御忌大会を終え、一同が法然上人の御廟に参拝いたします。



放生会

午後2時

〔場所〕御影堂

御忌法要の無事成満を謝し、生類を放生いたします。



御朱印

朱印所にて授与いたします。

各300円

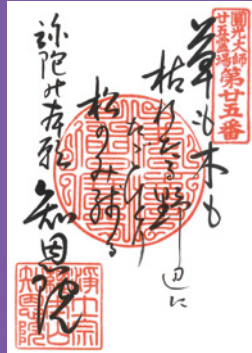


限定朱印 ◆ 国宝御影堂落慶法要参拝
※書き置きのみ 4月13日〜なくなり次第終了

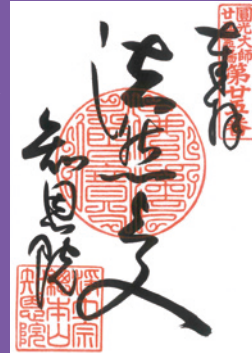
◆ 勢至菩薩



◆ 御詠歌



◆ 法然上人



御忌中の行事

18日(土) 献華式(華頂流)、高齢者招待祝賀会
ミッドナイト念仏in御忌(〜19日早朝)

19日(日) 楷定念仏奉納

20日(月) 各宗本山・官公庁・総代招待

21日(火) 総本山待遇者叙任式

22日(水) 写経会、納経法要
宗門功労者表彰式・高齢者壽賀式

23日(木) 宗門学校音楽法要、納骨堂参拝

24日(金) 叙任式

25日(土) 献茶式(表千家)
御廟参拝、放生会

26日(日)〜27日(月) 吉水講詠唱奉納大会

期間中〈18日(土)〜25日(土)〉
御忌布教、全国青少年書道展

和順会館

和順会館ギャラリーでは期間中、浄土宗児童教化連盟主催の書道展が開催されます。

全国青少年書道展



知恩院 和順会館

CHION-IN WAJUN-KAIKAN

凛として
あたたか

お念仏にふれる宿

お問い合わせ | TEL:075-205-5013 FAX:075-205-5015
〒605-0062 京都市東山区林下町400-2

詳しくはこちらをご覧ください ▶ <https://www.wajun-kaikan.jp/>



知恩院・金閣寺 御用達
八坂神社・北野天満宮

株式会社 磯崎瓦店

〒602-8178
京都市上京区裏門通水上の白銀町 254
TEL (075) 414-1445
FAX (075) 432-1571



総本山知恩院御用達

石の総合メーカー

本社 京都市中京区堀川御池角
TEL 075-841-1149 (代)
ホームページ
Http://www.ishitome.co.jp

総本山知恩院・各大本山御用達
お珠数専門の老舗・珠数製造販売

小野珠数店

〒604-8045
京都市中京区寺町通蛸薬師下ル
円福寺前町272
TEL (075) 221-2608
FAX (075) 256-3288



総本山知恩院御用達

稲川菓舗

京・東山区馬町東大路東入
電話 (561) 4719



仏壇・仏具・法衣・袈裟

株式
会社

大西法衣佛具店

〒605-0066 京都市東山区東大路通古門前石橋町296-2(知恩院参道角)

本社: 0120-002429

〒105-0011 東京都港区芝公園1丁目3-8 荅香園ビル1階

東京: 0120-552429



総本山知恩院御用達
社 寺 建 築
~ 伝統を現代に生かす ~

株式
会社

奥谷組

〒601-8308 京都市南区吉祥院向田東町8番地
TEL (075) 313-6533 FAX (075) 312-8417
http://www.okutanigumi.jp



泰平亭 売店

知恩院オリジナル人気商品のご紹介



お線香



極上沈香 知恩香
2,350円 (税込)



沈香 知恩香
1,870円 (税込)



知恩院さんのお線香
690円 (税込)

お茶

知恩院のお茶
(ほうじ茶/緑茶)
350mlPET
各120円 (税込)

※1ケース24本入り
2,100円 (税込) も
販売しています。



ほうじ茶



緑茶

その他数多くの商品を取りそろえております。
ご来山の際にはぜひお立ち寄りください。

知恩院 泰平亭

営業時間: 9時~16時 / 年中無休 TEL: 075-541-0245



京法衣・京仏具



華頂庵 安

藤



京都本店 〒605-0081 京都市東山区古門前通花見小路東入 TEL 0120-29-8161 FAX 075-525-2359
東京店 〒105-0014 東京都港区芝 2 丁目 15-2 TEL 0120-3232-09 FAX 03-3454-3251
福岡店 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町 12-7 TEL 0120-2143-22 FAX 092-291-2144

総本山知恩院御用達
生花

花彦

〒600-8415
京都市下京区不明門通松原上ル 因幡堂町705
TEL(075)351-4715 FAX(075)343-0145

総本山知恩院御用達

PRINTING
ニットク

企画から印刷まで

日本特殊印刷株式会社

京都市下京区富小路通五条上ル 〒600-8065
TEL(075)341-2291(代) FAX(075)341-2303
E-mail nittoku@theia.ocn.ne.jp

総本山知恩院御用達
浄土宗各大本山御用達
登録商標 清浄歓喜団 供饌菓子ねじ盛
京御菓子司

永清屋

〒605-0074 京都市東山区祇園町南側534
TEL075-561-2181(代) FAX075-541-1034
http://www.kameyakiyonaga.co.jp
E-mail:info@kameyakiyonaga.co.jp

浄土宗総本山・各大本山御用達
文房四寶・和洋紙・印刷・事務器事務用品
和家具・印章・記念品

創業 元禄年間

株式会社 紙嘉

〒605-0022 京都市東山区三条通白川橋西入ル
TEL (075) 751-1154
FAX (075) 771-1154

総本山知恩院御用達
絵画・墨蹟・一般表具 宗紋襖紙・御殿引手発売元

京表具

こう えつ ぶん
浩悦庵

古文化財保存修理 (有)矢口浩悦庵

〒602-8025
京都市上京区衣棚通丸太町上る 今薬屋町 318 番地
TEL.075-254-6021/FAX.075-254-6022
http://www.koetsuan.com E-mail:art@koetsuan.com

総本山知恩院御用達

Fujiya

学生食堂・購買部

株式会社 不二家商事

〒615-8003 京都市西京区桂上野東町129
TEL(075)391-0055/FAX(075)392-8003

緑と共に歩んで九十余年
庭園設計施工
KESステップ1認証取得

株式会社 小林造園

〒603-8442 京都府京都市北区紫竹西野山東町36-1
TEL (075) 491-4256 / FAX (075) 491-9432
info@kobayashizoen.com

重 古文化財建造物御用達
総合屋根工事

岸田工業株式会社

〒607-8464
京都市山科区上花山久保町 74-1
TEL (075) 593-2325
FAX (075) 581-9498

なくてはならない
印刷会社を目指して—

ヨシダ印刷株式会社 関西支店

〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-8-3 新大阪サンアルビル北館6F
TEL.06-6305-7888 / FAX.06-6305-7300
URL https://www.yoshida-p.jp/ E-mail:info@yoshida-p.co.jp
[金沢本社] 〒921-8546 石川県金沢市御影町19-1 TEL.076-241-2141(代)
[東京本社] 〒130-0014 東京都墨田区亀沢3-20-14 TEL.03-3626-1301(代)
[営業所・工場] 富山・金沢本社・江東堀見

総本山知恩院御用達

藤安田念珠店

本店
〒604-8072 京都市中京区寺町六角角
TEL(075)-221-3735 (代) FAX(075)-221-3730
http://www.yasuda-nenju.com/

g. 総本山知恩院御用達
和庭 洋庭 外構 庭園管理

株式会社 辻井造園

http://www.genworks.co.jp
〒520-0113 滋賀県大津市坂本二丁目7番18号
TEL : 077-578-0324 (代)
FAX : 077-578-0323

御菓子司

末富

京都市 下京区
松原通室町東入る
Tel (075) 351-0808

法衣と仏具

大西嘉七

〒605-0037 京都市東山区三条通神宮道
Tel (075) 751-0151 Fax (075) 751-0152
0120-0151-24 http://www.daikane.jp
有 大西嘉七法衣仏具店

総本山知恩院御用達

渡邊隆興

〒604-8135 京都市中京区東洞院三条南
電話 (075) 231-4802番(代)
FAX (075) 255-0361番

写真は我が家の宝—

Nagata Photo Studio

ウエディング・正月・成人式・入学・十三歳・お慶賀・七五三・結婚記念日・メモリアル等—

永田十蔵写真館
北店/京都市北区千本北大路角
TEL (075) 451-4130
FAX (075) 451-4155

★撮影日時のご予約を…

総本山知恩院御用達
經典 線香 薫香

豊田愛山堂老舗

〒605-0073 京都市東山区祇園町北側277
電話 075(551)2221番(代) 定休日 毎水曜日
FAX 075(525)1806番 営業時間 9:30~18:30

変わらぬ心で、新たなやすらぎ



東急ホテルズ

www.tokyuhotels.co.jp

涅槃図 曼荼羅
古軸修復専門 見積り無料

掛軸表装

仏画・仏事・寺院用

京都掛軸 杉本工芸

京都市上京区

智恵光院通中立売下ル山里町 236-1

TEL 075-417-6966 FAX 075-417-6965

www.sugikake.jp



IDEAS
TECHNOLOGY
PEOPLE

私たちはお客様の情報を
カタチにします。

- 印刷
- デザイン
- 編集
- ホームページ
- 翻訳
- ドローン撮影

石田大成社

本社 京都府京都市中京区丸太町通小川西入 ☎075-211-9112 (京都本社営業部)



ホテル平安の森 京都
HOTEL HEIAN NO MORI KYOTO



井筒八橋本舗
京都東山区
西利

宇治茶
福寿園
Fukufuen
Green Tea

京都名匠のれん会 知恩院三門亭売店

〒605-8686 京都市東山区林下町 400-1 三門前バスプール内 TEL 075-551-2124



信用一筋 今もむかしも

知恩院前
渡辺法衣仏具店

〒605-0066 京都市東山区知恩院前

TEL 075-561-5492 FAX 075-561-5482

フリーダイヤル ☎0120-566831

http://watanabehouibutsugu.com

有限会社 **松榮法衣店**

☎543-0002 大阪市天王寺区上汐5丁目7番3号

TEL (06) 6771-3882

FAX (06) 6773-1314

株式会社 **島津法衣佛具店**

フリーダイヤル 0120-157-768

〒615-0884

京都市右京区西京極郡町103-3

電話 (075) 314-7768

FAX (075) 315-3753

http://www.shimazu-houibutsugu.co.jp

KNT-CTホールディングス株式会社



近畿日本グループ

営業推進部 宗教法人担当

お近くの支店、担当者をご案内いたします。

京都

〒604-8186 京都市中京区車庫町通御池下ル梅屋町358

アーバネックス御池ビル西館3F

TEL 075-255-1425 FAX 075-255-4968



一国宝御影堂荘厳具 謹製納入ー



文化財修理 社寺内装・外装工事
株式会社 若林工芸舎

京都本社/京都市下京区七条通新町東入

☎(075)371-3137 FAX(075)371-3140

フリーダイヤル ☎0120-37-8585 (各店共通)

東京支社・築地店・札幌店・仙台店・福岡(営)

HP https://www.wakabayashi-kogeisha.co.jp

E-mail info@wakabayashi-kogeisha.co.jp

印刷の通販® グラフィック

gr@phic®

「使い心地のいい印刷サービス」をお届けします。

〒612-8395 京都市伏見区下鳥羽東岸川町33番地 TEL:050-2018-0700 FAX:075-366-5295

www.graphic.jp



京都府指定文化財

1 御廟

(内部非公開)

法然上人の廟堂。隣接する拝殿からお参りできる。



国宝

2 御影堂

8年間の修理を終え、令和2年4月に落慶法要を迎える知恩院の本堂。法然上人をお祀りする。



重要文化財

3 集会堂

法要を営む際、僧侶が威儀をただし集合する建物。御影堂修理期間中は法然上人をお祀りしていた。



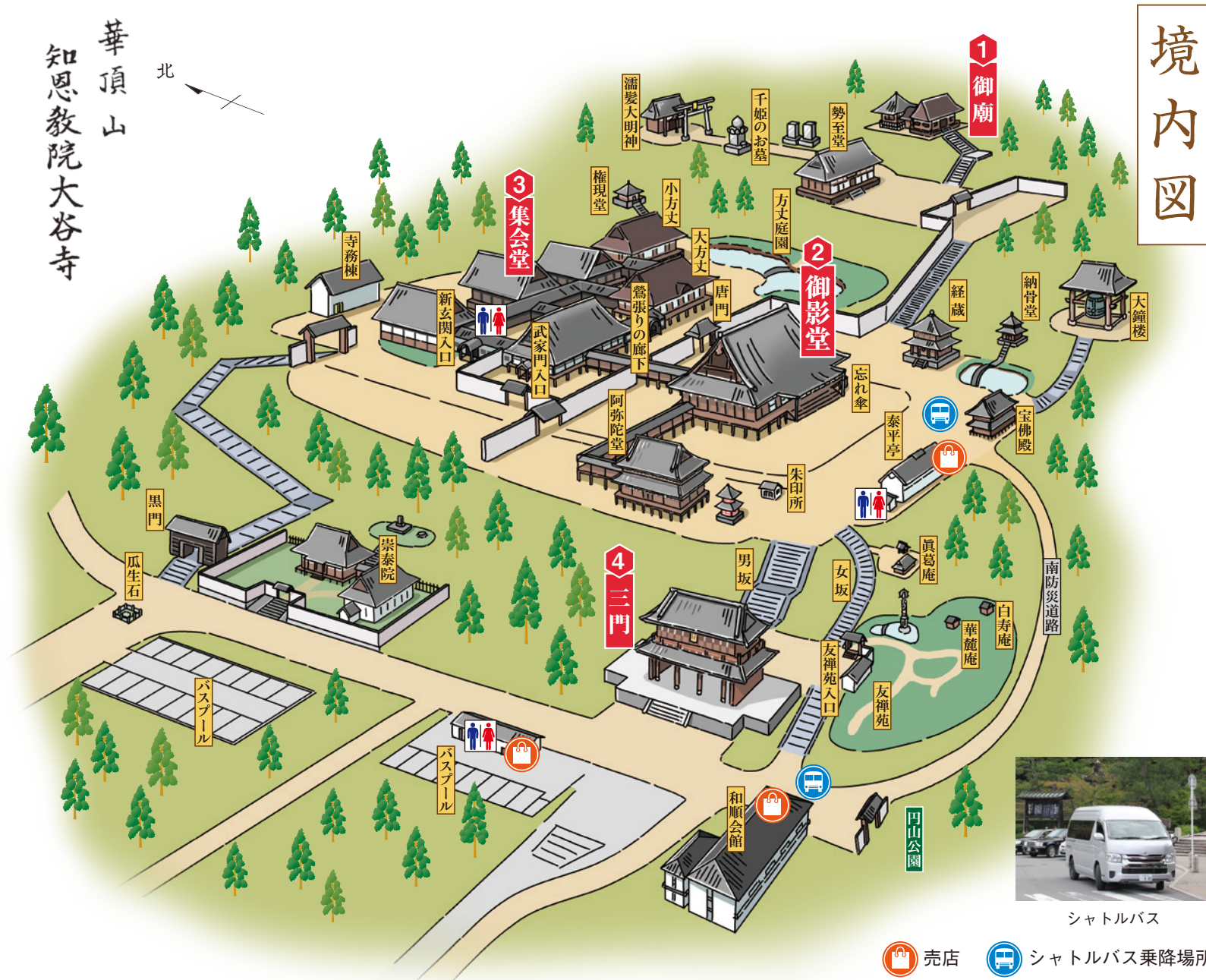
国宝

4 三門

楼内は仏堂となっており、宝冠をつけた釈迦如来と十六羅漢を祀る。4月18日のミッドナイト念仏では念仏の声がこだまする。

華頂山
知恩教院大谷寺

北



境内図



シャトルバス

売店 シャトルバス乗降場所

御忌大会の期間中は、公共交通機関でのご来山をお願いいたします。

※タクシーでご来山される場合は南防災道路（三門南側の道路）よりお越しください。

従来通り御影堂前ロータリーでの乗降をお願いいたします。

※和順会館と御影堂を結ぶシャトルバスを運行しております。お気軽にご利用ください。



今こそ
心のふるさとへ

法然上人の御心を感じ取っていただける

国宝 御影堂 落慶法要

令和2年4月13日月曜 14日火曜 15日水曜



お念佛からはじまる幸せ

浄土宗総本山 知恩院

〒605-8686 京都市東山区林下町400 TEL 075-531-2111 (代) FAX 075-531-0099

URL <https://www.chion-in.or.jp>